



# 岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

## 特集コーナー 在宅緩和ケア

先月十七日、院長が座長を務め、「誰もが自分らしく生きるために」と題し、講演会が行われました。これまで緩和ケアIIがんの終末期にホスピスで受けるものと考えられていました。しかし、それは皆さんが望んでいらつしやることでしょうか？ご家族と一緒に過ごして欲しい、この痛みさえなかったら趣味が続けられるのに、そんな方への提案が在宅緩和ケアです。痛み、吐き気、気持ちの落ち込みなどの苦痛を取り除く事がかかりつけの医師に、病状の観察や療養の相談などを訪問看護師に、日常生活をご家族やご友人、地域の方々をサポートしてもらいながら「自分らしく暮らす(生きる)」ことを目指してみませんか。緩和ケアは、そんな生き方を応援する医療です。

### 在宅シリーズ 訪問看護

いつもは元気な娘さんが今日は沈んでいます。何かあったのか問うと、「地方の親類が見舞いに来て、こんなにも苦しそうな母を入院もさせないなんて」と責められたと言います。気になさらないことですよ、ご本人とご家族の皆さんから決めたこと。事情を良くご存じない方からの無責任な発言には耳を塞いでし

まいましよう。と、肩を叩きました。お見舞いも普段と違う時間を過ごすので、思った以上に疲れてしまうこともあります。ご本人の状態があまり良くない時、介護している方が疲れて、余裕がない時は遠慮して欲しいものです。「今日のお見舞いは遠慮してください」とサラッと云える勇氣も時には必要です。

### ひげドク(ひげむ)



先月、コミュニケーションセンターにて行なわれた「誰もが自分らしく生きるために」の講演会には多くの方々にご来場いただき、在宅緩和ケアに関して、多少なりともご理解いただけなのではないかと思っております。今後も、緩和ケアに関してはより詳しくご紹介していきます。

さて、今月は「認知症 困っている家族はどうしたらよいか」の講演会が十五日、中央市民会館一階劇場にて午後1時半から開催されます。認知症患者を抱えているご家族の視点にたつて、医療や行政の立場からの講演です。是非多くの方々に参加していただきたいと思えます。

### 4階リハゴリ・今月のGOLF 秋の養生・菊花の効用

秋は各地で菊の花の鑑賞会が開かれ、人形や観賞用の大輪の菊花が目を楽しま

せてくれます。菊の種類は違いますが、生食用の菊を刺身のつまやおひたしとして食べることもあります。漢方では野菊花と言つて、乾燥させた菊の花を、煎じ薬の処方に使います。清熱解毒作用があり、風邪の初期や喉が腫れて痛い時などに効果があるとされています。緑茶に入れて予防的に飲むこともでき、ほのかな苦味が喉を潤してくれます。

### すたっふ便



二十三日は国民の休日の一つ「勤労感謝の日」ですが、この日は「新嘗祭(にいなめさい)」といって、天皇が五穀を宮中で神殿に供え、収穫を感謝する皇室の重要な祭儀の日です。神殿に供えられる「五穀」は昔から日本人が常食してきた穀物(米、麦、粟、豆、キビまたは稗)を指しています。ミネラルが豊富で食物繊維が多いことから最近では専門のレストランも多く紹介され、ブームになっていきます。

五月から始まったがん検診も十日で終了です。まだの方は、早めに受けるようにしましょう。

### 十一月の予定ー霜月

休診日 一日 三日 八日

十五日 二十二日  
二十三日 二十九日

